

第2学年 宿泊学習を中心とした(道徳・特別活動・生活科)学習指導案

奈良学園小学校 教諭 駿河 徳子

1. 単元名 笑顔で Jump !

2. 単元の目標

- ・ 自分を強くするためには、新たなことに挑戦したり、苦しいことにも自分なりにがんばってやり遂げたりすることが大切で、それが自分の成長につながることに気づく。(知識・技能)
- ・ 宿泊学習での様々な「修行」を通して、自分の心の変化や成長について考え、表現する。(思考・判断・表現)
- ・ 過去の自分自身や出来事を、現在の自分と比較して考えるとともに、自分の成長を支えてくれた人々との関わりについて考え、表現する。(思考・判断・表現)
- ・ 自分の成長のために、宿泊学習に積極的な気持ちで参加する。(主体的に学習に取り組む態度)
- ・ 自分自身の成長を振り返る活動を通して、これまでの成長を支えてくれたことや人に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1)教材観

本校では各学年とも宿泊学習を行っており、各教科等との関連を図り宿泊学習を中心としたプロジェクト学習を展開している。2年生は吉野山へ行き、護摩焚き、サイレントウォーク、座禅、紙漉きなどを体験することになっている。吉野山は修験道の聖地であり、子どもたちには「修行」という言葉を使っているが、いずれの体験も、2年生の子どもにとっては心を鍛えるためのものである。

生活科「自分たんけん」では、これまでの自らの成長とそれを支えてきたものは何だったのかということについて振り返る。宿泊学習での非日常の体験、新たな経験によって自らの中に起こった変化や成長を実感し、これを契機として、生まれてからこれまでの自分を振り返ったときに、同じように、多くの経験と家族を含む様々な人たちの支えがあったから成長できたということに気付けるようにしたい。

(2)児童観

本学級の児童は、帰りの会で友達のよさを発表する活動を通して、互いのよさを認め合う経験を重ねてきている。自分ができるようになったことや、多くなったことは自覚しているが、たくさんの人々に成長を支えてもらっていることに気付いている児童は少ない。

そこで、まず道徳教材『ぼくはまけない』の学習で、自分の弱さに気づき、「強くなりたい」、「だから修行に行くのか」という思いをもたせ、少しずつ宿泊学習への楽しみや、期待感が広がるようにしていきたい。

(3)指導観

まず、自分の弱さを実感するために、道徳教材『ぼくはまけない』を読み、「へこたれ虫」に負けそうになった経験を出し合う。そして、「ぼくはまけない」と言える自分になりたいと気持ち高めたうえで、吉野へ宿泊学習に行くことを伝える。護摩焚き、サイレントウォーク、座禅などの「修行」を通して、「ぼくはまけない」と言

える強い自分をつくるという目的を共有する。

宿泊学習後、様々な活動を通して感じたことを出し合い、自分の心の変化や成長につながるものについて考える。その中で、新たなことに挑戦することの大切さや、心を強くすることで自分が成長できること、またそのためには多くの人たちが自分たちを支えてくれていることに気づかせたい。

そして、生活科「自分たんけん」では、自分が生まれてからこれまでを振り返り、おうちの人へのインタビューを通して、宿泊学習での体験と同じように、自分の成長やそれを支えてもらっている人に注目し、「カッコいい2年生」になれているか考える。また、3年生に向けて、「カッコいい3年生」になるためにこれからどんなことを心がければいいかを明らかにさせたい。

(4)ESDとの関連

ESDの視点(見方・考え方)

- ・相互性:いろいろな人の支えがあって、自分が毎日を楽しく送れていることに気付く。
- ・責任性:よりよい3年生を目指して、自分を高める努力をしていこうとする強い意志をもつ。

ESDで育てたい資質・能力

- ・多面的・総合的に考える力

自分たちの周りにはすてきな「ひと」や「もの」が多くあることに気づき、それらに囲まれながら自分が成長してきたことを実感することができる。

- ・未来像を予測して計画を立てる力

周りの人の期待に応え、「カッコいい3年生」になるために、これから自分がどんなことを頑張らなければいけないかについて、具体的に考えることができる。

ESDで育てたい価値観

- ・幸福感を大切にする

様々な人の支えに感謝するとともに、その中で自分がさらに成長していくことの喜びを感じる。

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①日々の生活の中に見られる自分の弱さに気付いている。 ②新たなことに挑戦したり、がんばってやり遂げたりすることが自分の成長につながることに気付いている。 ③自分の成長には、周りの様々な人の支えがあることに気付いている。	①様々な「修行」を通して、自分のどこがどのように変わったかを考え、分かりやすく表現している。 ②過去と現在の自分を比較して、自分のどこがどのように変わったかを考え、分かりやすく表現している。 ③自分の成長には周りの多くの人の支えがあったことを考え、具体的に表現している。	①宿泊学習の様々な「修行」が自分の成長に大切なことだと感じ、積極的な気持ちで参加しようとしている。 ②自分の成長に喜びをもつとともに、友達の成長も同じように喜び、ともに高まっていこうとしている。 ③周りの人に感謝の思いをもち、よりよい自分を目指すために努力している。

5. 単元の指導計画(全 26 時間)

次	主な学習活動	学習への支援(・)	評価(△) 備考(・)
1 道 徳	○『ぼくはまけない』を読み、「へこたれ虫」に負けそうになった経験を出し合う。 ・ぼくは負けてしまうこともある。 ・「へこたれ虫」に負けないように強くなりたいな。 ・「ぼくはまけない」って言える自分になりたいな。	・役割を動作化し、気持ちを考えさせる。 ・自分の生活を、ふりかえさせる。	△ア①
2 事 前 学 習	吉野ってどんなところなのだろう？ ○自主学习で吉野について調べる。 ・凄い山だな。桜で有名なところだ。 ・私の使っているお箸や紙と違うな。 ・修行(護摩炊き・サイレントウォーク・座禅)ってどんなことをするんだろう。	・宿泊学習のねらいや活動内容、役割の分担などについてパワーポイントで視覚化し、理解しやすい方法を用い事前指導を行う。 ・写真等を活用して視覚的に表す。 ・自主学習の宿題を出し、吉野について調べさせる。	△ア② △ウ①
3 宿 泊 学 習	○護摩焚き体験 ・出た火や煙と一緒に願い事が仏様に届くように祈るのか。 ○サイレントウォーク ・吉野の自然ってすごい。 ・滝の音や鳥の声、落ち葉を踏んだ時の音など、自然の音が聞こえた。 ○座禅体験 ・姿勢を正しくして座り、集中することができた。 ○紙漉き ・コウゾはねばねばしてたし、水は冷たかった。 ・お家の人に、和紙の葉書きも書けた。	・事前に質問するタイミングや内容を準備し、コミュニケーションの回り方について指導する。 ・「修行」を通して、「ぼくはまけない」と言える強い自分をつくるという目的を確認する。	△ウ①
4 事 後 学 習	○新聞にまとめる。 ・凄い煙を吸い込んで、弱い心を追い出せた。 ・しゃべらず歩けたから、我慢する力がついたと思う。 ・お宿の人に親切してもらったので、私も人に優しくしようと思った。	・新聞に書く内容を確認する。 ①修行について ②吉野で出会った人から学んだこと ③心に残ったことやこれからいかしていきたいこと ・新聞の②③を中心に発表できるよ	△イ① △イ②

	○宿泊学習報告会をする。	うに、グループで聞き合わせる。	ウ②
5 生 活 科	いろんな体験を通して、自分はどんなふうにかわったかな？		ア③ イ③
	○おうちの人にインタビューする。 ・大切に育てられてきたんだな。 ・たくさんの人に助けられてきたんだな。 ・かっこいい3年生になるために、どんなことをすればいいかな。 ・一人ではできないことも、みんなといっしょだ。	・小さい頃の「できなかったこと」を具体的にインタビューさせる。	
	かっこいい2年生になれたかな？		イ③ ウ③
	○「かっこいい3年生」になるために、どんなことをすればいいか考える。 ・どんなことががんばってやろう。 ・一人ではできないことも、みんなといっしょだったからがんばれた。 ・今の自分をおうちの人にも伝えたいな。	・どんな姿が「かっこいい」のか、具体的に表現させる。 ・自分のどこをどのように高めれば「かっこいい」3年生になれるか、具体的に表現させる。	